

## 企業概要

- 社名：株式会社MARUI-PlugIn（大阪府）<https://www.marui-plugin.com/ja/top/>
- 従業員数：3人      ■ 資本金：2.3百万円      ■ 売上高：5百万円
- 事業内容：VRソフトの開発      ■ 知的財産：特許1件



MARUIの活用現場

## 相談のきっかけ

### 3Dデザイン用VRソフトを開発する

当社は、アニメーション制作等に利用される3Dコンピューターグラフィックスソフトウェアを、3D空間で直感的に使用できるプラグインソフト「MARUI」の開発を進める創業間もないベンチャー企業である。既に、VRで操作できるプラグインソフト「MARUI」の販売を開始しており、さらに3D空間でジェスチャーによってコンピューターとの対話ができ、プログラミング時間を大きく節約できるジェスチャー認識ライブラリ「MiVRy（ミブリー）」の開発を進めており、開発技術の保護、活用ができるよう知財戦略について支援を受けたいと考えた。

## 課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知財戦略について、基礎的な考え方について理解を促すための支援を行う。</li> <li>・ 開発成果を整理し、特許出願するための基本的なステップについて支援を行う。</li> </ul> <p>弁理士</p>
販売戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示会、SNSマーケティング等のPR手法、ライセンス、サブスクリプション等の販売手法、顧客のセグメンテーションに分けて、対応策を支援する。</li> </ul> <p>中小企業診断士</p>
契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売契約上の留意点（秘密保持義務、知財権リスクに関する取り決め、商品名とロゴの使用）について支援する。</li> </ul> <p>弁護士</p>

## 支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェスチャー認識ライブラリ「ミブリー」に関する要素技術に関して特許出願を行うことができ、「ミブリー」をリリースすることができた。尚、出願については早期審査を申請していたため、現在すでに登録になっている。</li> </ul>
販売戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレスリリースとメディア掲載を高頻度に行い、当社の技術とブランドの認知度を上げることができた。</li> <li>・ 展示会、SNSマーケティング、キャンペーン、代理店施策等を展開した。想定ユーザーリストを作成し個別アプローチも行った。</li> <li>・ 3Dジェスチャー認識ライブラリ「ミブリー」を上市し、コア技術と商品の拡張を行うことができた。</li> </ul>
契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内、台湾において販売契約を締結することができた。</li> </ul>

## 社長の支援成果についてのコメント

知財戦略に関して、弁理士の紹介から、打合せまで手厚くご支援いただいたお陰で、国内での特許取得に成功いたしました。また、販売戦略に関しても、専門家を派遣いただき、これまで無かった視点から種々アドバイスをいただきました。今後は、取得した特許技術をベースとして事業の拡大を目指します。

リーダー：西井克己（中小企業診断士）

支援担当者：大野健造（大阪府知財総合支援窓口）